

1. 研究活動

【展覧会（プロジェクト）企画】			
あいちトリエンナーレ 2010 プレイベント現代美術の発見Ⅱ 平田あすか “サボテンノユメ”	2009. 6. 12 ～8. 16	愛知県美術館 展示室 6	あいちトリエンナーレのプレ企画。ゲストキュレーターとして、作家選考、展示、パンフレット編集、執筆を行った。
【出版／企画・編集】			
平田あすか “サボテンノユメ” パンフレット	2009. 3. 30	あいちトリエンナーレ実行委員会	平田あすか展のパンフレット制作のため、作家論執筆と編集。
「地熱の荒野しんぶん」 1月号	2010. 1. 1	トトち舎	あいちトリエンナーレ共催企画「往還―地熱の荒野から―」（七ツ寺共同スタジオ）に連動した7回限定の個人発行新聞。1号。
「地熱の荒野しんぶん」 2月号	2010. 2. 2	トトち舎	あいちトリエンナーレ共催企画「往還―地熱の荒野から―」（七ツ寺共同スタジオ）に連動した7回限定の個人発行新聞。2号。
「地熱の荒野しんぶん」 3月号	2010. 3. 3	トトち舎	あいちトリエンナーレ共催企画「往還―地熱の荒野から―」（七ツ寺共同スタジオ）に連動した7回限定の個人発行新聞。3号。
【新聞原稿執筆】			
アニマルズ inACC 三沢厚彦の世界展	2009. 4. 17	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	愛知県美術館での三沢厚彦の個展。動物彫刻の人気作家が作品に託した生命の意志を解説。
大西伸明展	2009. 5. 8	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	「垂直集め」と銘打たれた中京大学Cスクエアでの個展。表面と実体の差異について言及。
三輪美津子展	2009. 6. 5	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	ギャラリー HAM での三輪美津子の個展。20年の時間差のある作品を展示。そこにひたむきな視覚の欲望があることに言及。
竹田大助・再考展	2009. 7. 10	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	白土舎での故・竹田大助の回顧展。オートマティズム絵画の描線にせめぎあう、情動と思念に想いをはせて解説。
ひびのこづえ展	2009. 8. 7	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	はるひ美術館で「キタイギタイ」と銘うたれた人気作家の個展。その想像力の軽やかさと原風景に言及。
早川知加子展	2009. 9. 11	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	名古屋芸術大学卒業の若手女性作家の個展。小さき命への誠実なまなざしと趣味性に言及。
寛 忠治展	2009. 10. 16	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	一宮市三岸節子記念美術館での、受贈記念展。生命の根源を託された自画像と母の像について解説。
佐藤昌宏展	2009. 11. 13	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	岐阜のギャラリーパsworldでの個展。作家の奇想の画面に凝縮された生命観を解説。
鷹野隆大展	2009. 12. 4	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	ギャラリー M での「花街びと」と題された写真展。作家がとらえる一瞬の切なさ、制作スタイルに言及。
09年の美術回顧 (09年の展覧会ベスト5)	2009. 12. 25	朝日新聞 朝刊文化欄 Art	①「近代の東アジアイメージ」展②「躍動する魂のきらめき―日本の表主義」展③「放課後のはらっぱ」④「ゴーギャン展」⑤「寛忠治展」を記述。

国島征二展	2010. 1. 22	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	岡崎のマサヨシスズキギャラリーでの個展「記憶の集積」。70年代から活動する作家のライフワークに言及。
久野利博展	2010. 2. 26	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	碧南市哲学たいけん村無我苑での個展「立ち現われる空間」で、作家が追究する制作姿勢を解説。
百瀬 寿展	2010. 3. 19	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	豊橋のギャラリーサンセリテでの個展。20年前に初見して以来、かわらない作風と、近年の変化に言及。
<b>【学内冊子「Ble」原稿執筆】</b>			
あいちトリエンナーレ2010 プレイバント発信!	2008. 4	名古屋芸術大学アート& デザインセンター 「B!e」26号	レビュー欄に「平田あすか展」「うしろの正面」「放課後のほらっば」について本学関係者の活躍を中心に紹介。
美系優秀 【ビケイユウシュウ】2009	2008. 5	名古屋芸術大学アート& デザインセンター 「B!e」27号	文化フォーラム春日井において開催された学生選抜展に関して紹介。
特集：名古屋の現代美術画廊 70-80年代、画廊が牽引した名古屋の現代美術事情	2008. 6	名古屋芸術大学アート& デザインセンター 「B!e」28号	特集のメイン記事の執筆と、「芸術編集研究」の授業の一環で、学生に取材テキスト執筆を指導。
<b>【連載コラム原稿執筆】</b>			
名古屋シネマテーク通信 next arts 通信	2009. 4 ～2010. 3	名古屋シネマテーク通信	1998年より毎月連載。中部地域に限らず、内外の現代アートや文化トピックスを巡るミニコラム。
<b>【編集&amp;執筆】</b>			
特集「トリエンナーレ!!!」 座談〈国際展の現在〉	2009. 5	「REAR (リア)」no.21	〈特集〉記事構成と編集。「トリエンナーレ!!!」での座談記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
とちかち国際現代アート展 「デメーテル」再考	2009. 5	「REAR (リア)」no.21	〈特集〉記事として、〈国際展が地域にもたらしたものは何か?〉をテーマに帯広での取材を中心にまとめ記録、検証。
特集「必須芸術宣言。」 座談〈人類にとって「アートとは何か?」〉	2009. 10	「REAR (リア)」no.22	〈特集〉記事構成と編集。〈人類にとって「アートとは何か?」〉座談記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
インタビュー 芹沢高志 P3前史 遭遇すること、生きていく現場感覚へ	2009. 10	「REAR (リア)」no.22	アートプロデューサーとして活躍する芹沢高志氏に、青年期と初期の地域計画の経験と背景についてインタビュー。
インタビュー 後々田寿徳 梅香堂だより オルタナ ティブな場に、ひとり佇んで	2009. 10	「REAR (リア)」no.22	学芸員から大学教員を経て、あらたにオルタナティブ・スペースを開設した後々田寿徳氏に、その近況をインタビュー。
高木正勝×土取利行 インタビュー：高木正勝	2009. 5	「REAR (リア)」no.22	金沢21世紀美術館での高木正勝氏と土取利行氏との対談をレポート。さらに高木正勝氏に創作の根源をインタビュー。
インタビュー：田中 泯 いま、最も重要な観客は自分自身となった	2009. 5	「REAR (リア)」no.22	舞踊家の田中 泯氏に、踊りの根源と観客についてインタビュー。
<b>【講演／コーディネーターなど】</b>			

平田あすか おはなし会 「サボテンからオオカミま で」 司会進行	2009. 7. 4	愛知芸術文化センター アートスペース EF	平田あすか氏のアーティストトークに際して、 司会進行。
シンポジウム 「芸術・環境・社会」	2010. 2. 6	名古屋市民ギャラリー矢 田	ファン・デ・ナゴヤ美術展を記念したシンポ ジウム。針生一郎氏を中心に西村正幸氏、水 谷イズル氏との座談の司会進行。
トリエンナーレスクール 「アートを伝えるコトバと紙 媒体」	2010. 3. 26	長者町織維卸会館	あいちトリエンナーレのプレ企画。ボランティ アを中心にした参加者に入門的レクチャー。 自身の編集への関わりを紹介。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 プロジェクト研究		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
アートマネジメントの実践を視野に、前 期は基礎知識を、後期は実践を意図した。 展示と公演の違いを理解するために、と もに実践の機会を得た。	ギャラリーでの展示や、コンサート運営 の裏方の経験など、現場実践も取り入れ ながら、必要な器材の使用も導入。	

## 3. 学会等および社会における主な活動

名古屋市土木部堀川整備調整委員	2005. 4～現在	
芸術批評誌「REAR」編集メンバー	2002. 10～現在	
かすがい文化振興財団評議委員	2008. 4～現在	
豊田市美術館運営協議会委員	2008. 4～現在	